

防災都市推進委員会事業計画

委員長	桑原	直樹
副委員長	真保	克貴
副委員長	田中	一裕
運営幹事	木島	敏幸
会計幹事	勝島	均

【基本方針】

2011年3月11日、日本中が震撼した東日本大震災が発生しました。このような大災害や有事に備え、的確に行動するためには、公助だけではなく日常レベルでの共助による地域住民の連携は必要不可欠であり、それを今一度見つめ直す必要があると考えます。コミュニティを基本とし一人一人の防災意識の向上を図り各々が連携することで、防災ネットワークを醸成し、全体の安心安全な暮らし、そして国内有数の防災都市を目指します。

当委員会では、地震や大雨など様々な災いを防ぐことを総合的に『防災』として捉えながら、実践と体験を通じた運動を展開します。まずは、公開委員会形式で防災に関する基礎知識を学び防災意識を醸成するとともに、上越市におけるコミュニティ・関係諸団体同士の連携、すなわち防災ネットワーク構築の必要性について提案します。次に、6月公開例会にて県内事例を教訓とした防災都市推進の必要性を市民に示して、有事に備える日常レベルでの取り組みとして具体的な提案を行い、防災システムを活用した防災ネットワークを構築します。そして、共に創り上げた防災ネットワークの強化の場をイベント形式の事業で設け、各種活動や情報等の共有と市民への周知を図ります。また、これに広く市民の参加を促すことで防災に関する意識向上を図るとともに、家庭や学校、NPOなどが日常レベルから連携する防災ネットワークの大切さを学んでもらい、連携の必要性を醸成します。更に、共創した防災システムの発表と実証を兼ねて体験型の事業を設け、防災都市推進に向けた上越市独自の防災に関する備えとシステム実用化に向けた提言を行います。

防災という観点からコミュニティを見つめ直し意識改革と連携を図っていくことが、住みやすい環境・まちづくりにも波及すると考えます。すなわち、防災ネットワーク確立から防災意識の高い都市を形成することが安心安全な暮らしの確立に繋がると確信します。

【委員会職務分掌（事業内容）】

1. 防災意識醸成及び防災ネットワーク構築提案のための公開委員会の開催
2. 6月担当例会（防災ネットワーク構築事業）の開催

3. 防災ネットワークシステムによる防災ネットワーク強化事業の開催
4. 防災ネットワークシステム体験型事業の開催
5. 上信越トライネット協議会への参画
6. 会員拡大の推進
7. 50周年記念事業への協力と実施